

かかりつけ薬局を持ちましょう

「かかりつけ医」が普段の健康管理や万が一病気になったときの心強い味方だとすれば、薬局は薬の面から健康管理のサポートをしてくれる強い味方です。

◎かかりつけ薬局とは？

かかりつけ薬局とは、薬の使用方法や疑問に答え、よき相談相手になってもらえるような身近な薬局のことです。患者さんは、どこの医療機関で処方箋をもらった場合でも、自由に調剤を受ける薬局を選択することができます。自宅や勤務先の近隣などに、気軽に相談でき、信頼のおける薬局を持つことが大切です。どの医療機関にかかってもかかりつけ薬局で調剤を受けることで、各個人の体質や薬についての情報に応じた調剤をすることが可能になり、薬を受け取り使用する際の安心感が高まります。

◎かかりつけ薬局をもつメリット

- ① あなたの「薬歴（お薬の服用や体質などの記録）」をつくり、いろいろなお医者さんから同時に処方せんが出たときなど、お薬の飲み合わせ（相互作用）や重複がないかを確認します。
- ② 市販の大衆薬をお飲みの方が、薬局で処方せん調剤を受ける場合には、大衆薬との飲み合わせのチェックもできます。
- ③ お薬についてわかりやすく説明します。お薬の名前や飲み方、注意事項などを書いたおくすり手帳や、効きめや注意すべき副作用などを記載した文章などをお渡しすることもできます。
- ④ お住まいなどの近くであれば、一旦薬局に処方せんを預け、あとで調剤された薬を取りに行くことも簡単です。お年寄りや体調が悪い時には、ご家族の方が代わりに処方せんを薬局にお持ちになったり、薬を取りに来ていただくこともできます。
- ⑤ 「かかりつけ薬局」を決めておけば、お薬について気軽に何でも相談（薬が余ってしまう、副作用、保管方法、飲み忘れ…等）できて安心です。休日・夜間など、いざという時にも役に立ちます。



(2023. 03. 31 作成)